

外断熱パネル（工法）

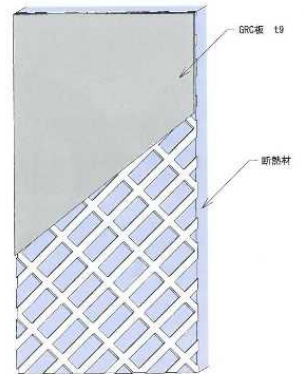
K402-1.02

平成 29 年 01 月

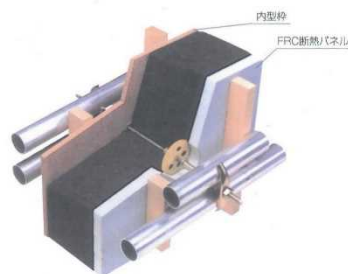
近年省エネルギー対策の高まりから建築物の各種断熱工法が普及している。中でも室内側の表面結露、内部結露を防止できること、既存の建築物でも施工が容易ということで外断熱工法が広く普及している。

外断熱工法用にGRCを使用したパネルが会員会社2社から販売されていて、新築用と、既存改修用の2タイプがある。いずれも有機系断熱層を裏打ちしたGRC面材で構成されている。前者は、通常のRC壁において外部側ベニヤ型枠の代わりにGRC外断熱パネルを建て込み、コンクリートを打設するもので埋設型枠として型枠ばらしが不要になる。後者は、既存RC壁にあと施工アンカーを用いて取付けしていくものである。必要な断熱性能に応じて断熱層の厚さを替えて、個別要求に対応している。

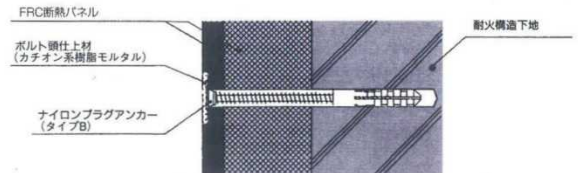
パネルの種類 標準パネル タイル貼り用パネル 通気構法用パネル



新築の施工例



改修の施工例



耐火構造であるRC壁に外断熱パネルを覆う工法なので、地震・風等に対する構造上の安全性、耐久性等を確保することも必要であり、かつ断熱材が有機系発泡材料なので火災時の安全性が重要である。

昭和60年9月5日住指発第510号

<耐火構造の外壁に施す外断熱工法の取り扱いについて>

有機系発泡材料の種類【建築物の防火避難規定の解説-2016：日本建築行政会議編】

JIS A 9521にある発泡プラスチック系4種類

ビーズ法ポリスチレンフォーム、押出法ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、フェノールフォーム

耐火構造認定番号

北日本ダイエイ社	GHタイプ(9mm)	FP120BE-9028/060BE-9041
	GNタイプ(12mm)	FP120BE-9035/060BE-9048
日本ハウス社	GSタイプ	FP120BE-9012/060BE-9021

販売元：(株)北日本ダイエイ、日本ハウス(株)

* 各社の詳細は、会員名簿から各社ホームページにアクセスして、参照願います